



CUR!O SCHOOL

これからの社会を生きていく
Youth Innovatorを育むスクール

以下の3事業を主な事業として企画・運営

事業	事業概要
教室事業	<ul style="list-style-type: none">千駄ヶ谷校 (2015年4月～)1回2時間、週1回通学する教室として運営Daily・Weekly・Monthlyの3コースを開講 ※Daily・Monthlyコースは2015年9月～開始
学校に対する コンサルティング 事業	<ul style="list-style-type: none">出張授業や教員向け研修、教材開発などを学校より受託実績：広尾学園 (2014年5月～11月) 品川女子学院 (2015年4月～7月) 等。 ※開成高校、聖光学院、同志社中学 等も ワークショップ企画進行中
イベント企画・ 運営事業	<ul style="list-style-type: none">企業やプロの方とともに、仕事の楽しさや難しさを体感する 半日ワークショップ「なりきりプロジェクト」の企画・運営実績：「冬でも売れるアイスデザインせよ」(竹下製菓様) 「ミュージッククリエイターになろう」(ジャストロン ボーン奏者) 等

1.教室事業 概要

ビジョン

「変化する新しい社会のなかで、他者との違いを尊重しつつ自分の能力を最大に活かせる人を育てます。」

ミッション

「わたしたちのスクールコミュニティは、生徒ひとりひとりの生涯にわたって学び続ける情熱、社会的感情、そして創造力をインスパイアします。」

コンセプト

? (疑問や気づき) をみつけ、**!** (発見や理解) に変える。
主体的に考え、自ら行動を起こせるYouth Innovatorを育むスクール。

育む力



知的な好奇心
Curiosity



コラボレーション力
Collaboration



創造力
Creativity

- 10年後、20年後の社会において必要とされている3つの力
- 学校では学習指導要領等の関係から十分に時間を割いて育みきれていない。
- 学校でも家庭でもない第三の場所でこれらの力を育む。
 - 小学生を対象に学年別4クラスと3コース(Daily / Weekly / Monthlyコース)を用意

1.教室事業 カリキュラム

特徴

- ①Learn by doing : 実践から学ぶ事を大切にした探求型、課題解決型のカリキュラム
- ②Students centered : 生徒が先導して考え、行動する。ファシリテータは適宜サポート。
- ③Lifelong learning : 生徒の興味関心を第一にし、知的好奇心から探求する楽しさを育む。

授業設計 および テーマ例



未来都市リーダープロジェクト

未来都市リーダーとして、10年後の千駄ヶ谷を考えるプロジェクト。フィールドワークから現在の問題を発見し、どうすればその問題を解決できるか考えることを通じて、創造力を育みます。

- 伝える力
- 考える力
- 気づく力
- 調べる力

- 最初に”Doing”を行い、気づきや疑問(もやもや)を持つことから始める。「もやもや」が知的好奇心の出発点であり、そこから自ら調べ、考えることで発見や理解を得てLearningにつなげる。
- 授業はプロジェクト型学習がメイン。1回2時間、4回～8回(1ヶ月～2ヶ月)の単位で進行。
 - 地域の矛盾を見つけるプロジェクト(3～4年生)
 - 遠足改善プロジェクト(2～3年生)
- メソッドとして、デザイン思考を活用している。

Doing

とりあえずやってみる、
触ってみる、体験してみる。

?

何かに気づく、
疑問に思う。

Learn

調べてみる、話を聞いてみる、
考えてみる、伝えてみる

!

発見する、理解する、
新たな気づきを得る

2.学校に対するコンサルティング事業

概要

- 中学や高校にてデザイン思考活用した探求型授業の出張展開
- 教員向けの教材開発および研修（準備中）

- 広尾学園にてデザイン思考講座(全14回、対象中学生～高校生)を実施（2014年）
- 品川女子学院にてデザイン思考講座を実施。(2015年)
 - この講座ではTONE Mobileと連携し、中高生のアイデアを活用した新たなスマートフォンをデザインしている。

「女子中学生に愛されるスマホをデザインせよ」（2015年4月より実施）

実績



テーマ : 女子中学生に愛されるスマホをデザインせよ
コラボレーション企業 : TONE Mobile
実施時期 : 2015年4月～6月
対象 : 中学3年生
参加者 : 約230名

3. イベント企画・運営事業 なりきりプロジェクトについて

概要

- その道のプロを講師に交え、仕事の楽しさを体感する企画授業
- 単なるキッズニアではなく、厳しさや難しさも含めた本物感を追求

特徴

- 年間3～6回程度の頻度で実施。
- 楽しいことだけを行う「体験ワークショップ」ではなく、プロ視点からの厳しいフィードバックやある程度の自由度をもたせ、子どもたちが試行錯誤できる「体感ワークショップ」が基本。
- なりプロを通じて、プロの凄さや仕事への興味を子どもたちに抱いてもらう。

「冬でも売れるアイスをデザインせよ」 (2014年11月実施)

実績1



テーマ : 冬でも売れるアイスをデザインせよ
コラボレーション企業 : 竹下製菓株式会社
実施時期 : 2014年11月22日
対象 : 小学1～6年生
参加者 : 6名
参加費 : 2,000円

「ミュージッククリエイターになろう」 (2015年5月実施)

- トロンボーン奏者やピアニストを招待し、無声映像に対する曲作りを実施。
- 映像から感じたことを言語化し、音楽に変換していくことを2時間のワークショップで実施。

「ミュージッククリエイターになろう」 (2015年5月実施)

実績2



テーマ : ミュージッククリエイターになろう
コラボレーション企業 : プロミュージシャン
実施時期 : 2015年5月6日
対象 : 小学1～6年生
参加者 : 8名
参加費 : 4,000円

4. 応援メッセージ



漆 紫穂子

品川女子学院・校長

CURIO SCHOOLの開校おめでとうございます。

品川女子学院の教育目標として、「私たちは世界をこころに、能動的に人生を創る日本女性の教養を高め、才能を伸ばし、夢を育てます。」を掲げております。能動的に人生を創るためには、自分の夢を見つけ、その夢を実現できるように自らの頭で考え、行動することが大切になります。

CURIO SCHOOLで行っているデザイン思考教育は、正に自らの頭で考え、行動することにつながるもので、能動的に人生を創るために必要なものだと思います。

これからの社会は今までの社会とは大きく変化していきます。

今の子供が大人になる頃には、現在ある職業の65%が存在していないだろうという研究もあります。一方、社会の問題や人々の想いは変わらず存在するでしょう。これからの教育はどうやってその職業に就くかということをお教えるのではなく、何のために生き、どのように社会の問題を解決するか、という志や使命を持つような環境を子どもたちに提供していかなければなりません。

これらのことを学ぶことができるCURIO SCHOOLがこれからの教育のスタンダードになること、そしてCURIO SCHOOLで学んだ子どもたちが未来の社会を牽引していくことを期待しています。

4. 応援メッセージ



塩瀬 隆之

京都大学准教授(総合博物館)

CURIO SCHOOLの開学、おめでとうございます。

「変化する新しい社会で自分を活かせる人を育てたい」という西山さんの想いが結実した学校が誕生すると聞いて、嬉しい気持ちが半分、悔しい気持ちが半分です。それはわたし自身が、子どもたちに届けるワークショップや学習環境をデザインするときが一番大切にしてきた想いとまったく同じコンセプトで、それがしかも「新しい学校」という一つのカタチに結実させておられるからです。先を越されてしまったというのが正直な気持ちです。デザイン思考を駆使して子どものうちから実践的な社会課題へ触れる機会を用意することも、多様な価値観の中で異なる考え方の相手を尊重しつつ徹底的に議論する機会を用意することも、どちらも激動の時代を生きる子どもたちに一番身につけて欲しいと考えてきた力です。この力の獲得をミッションの第一義にかかげておられることが、この新しい挑戦の価値そのものであることは疑いありません。

これまでも異文化理解が重要とされながら、なかなかその力を具体的に身につけられる体系化されたカリキュラムに出会うことはありませんでした。異文化や異世代の人と触れる機会をただ用意したとしても、その機会からたまたまよい経験として吸収できるかどうかは、その子ども自身の潜在力に委ねられてしまい、きわめて属人的な成果の域を超えることができずにいました。ここで改めなければいけないことは、議論を尽くさずに安易に多数決で決定してしまったり、空気を読むことで反対意見や腑に落ちない状況をだまってしまうような、表面的な協調性です。本当の意味で多様さと向き合うカリキュラムの難しさと重要性を知っているはずの西山さんがこのタイミングで開学にこぎつけたということは、そこに確かな自信を得たということなのでしょう。

未経験との遭遇にひるむことなく、多様な価値との出会いを尊重するには、ある「技法」が必要です。未来を予測するもっともよい方法は、自らが未来を創造することではありませんが、どんな価値の転覆が起ころうとも諦めずに学び直し、創造しなおすためには、やはり具体的な「技法」が必要です。CURIO SCHOOLには、その礎となる豊富な体験が詰まったカリキュラムがデザインされているようです。

生涯にわたって学び直し続けられる力、自らの未来をデザインできる力、そんな力が子どもたちに身につくような魅力的なカリキュラムに出会えること、今から楽しみでしょうがありません。

5.STAFF紹介



【共同設立者・代表】

西山 恵太

【略歴】

京都工芸繊維大学にてデザインを専攻し、その後京都大学経営管理大学院に進学。その際にスタンフォード大学ME310プロジェクト(デザイン思考を活用した製品開発プロジェクト)に従事。2011年に株式会社野村総合研究所に経営コンサルタントとして新規事業開発支援や官公庁の政策調査・実行支援プロジェクトに従事。2014年、広尾学園にてデザイン思考講座の企画・ファシリテーターを務め、2015年より品川女子学院にてデザイン思考講座の企画・ファシリテーターを務める。



【共同設立者】

竹内 正和

【略歴】

慶応義塾大学工学部卒業後、旭化成(株)が社内ベンチャーとして始めたMRI研究所でソフトウェア開発を担当。その後、現シーメンス・ジャパンでMRIのマーケティング部門で日本での販売台数を約10倍にする。革新的な技術を生み出す原動力は教育であるはずなのに、日本と欧米との教育格差を改善しようと1991年に愛知県で私塾を立ち上げる。米国シリコンバレーにある革新的な教育で有名なThe Nueva SchoolからPBLを導入し、日本の学生に適したプログラムを2002年から実践し続けている。現在、(株)ネオスクール代表取締役、学校法人旭学園理事、その他NPOや学生団体の後援をし、人材育成をしている。



【共同設立者】

川崎 由起子

【略歴】

同志社大学を卒業後日本語教授法の修士課程を取得し、アメリカ・シリコンバレーの gifted-talented school, The Nueva Schoolにて人文学とのコラボ、交換留学、日本への研修旅行を含めた日本語総合カリキュラムを設立し14年間運営する。現在はヌエーバスクールの日本語プログラムの監修をしつつ日本の教育に貢献するための活動中。

お問い合わせ

住所 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-13-3
電話番号 : 03-6434-7530
メールアドレス : school@curioschool.com
担当 : 西山